

## 検査説明：32

**血小板 (Plt)****血小板とは？**

血小板は出血をとめる働きをする血球の一種です。

透析患者さんでは、血小板がヘパリンや他の薬剤の影響で減少することもしばしばあります。

また、肝臓の状態にも影響されます。

長期の透析患者さんでは血小板が減少してくるとの報告もあり、その場合経過を追ってみる必要があります。

## 検査説明：33

**肝機能検査****肝機能検査とは？**

肝機能検査 (AST, ALT,  $\gamma$ -GTP など) を定期的に見ています。

これは薬剤の副作用で肝臓が悪くなったり、肝炎などが起きていないか調べています。

また、透析患者さんでは、体重の増やしすぎにより、肝臓に血液がたまり過ぎ、検査値に異常がでることもあります。

## 検査説明：34

**脂質****脂質検査とは？**

総コレステロール、中性脂肪、HDL-コレステロール脂質検査は、動脈硬化の原因になるコレステロールなどの検査です。

総コレステロール、中性脂肪は高いと動脈硬化の原因になり、低いと栄養状態がよくないという目安になります。

中性脂肪は、糖質のとりすぎや透析時の抗凝固剤の影響で上昇します。

HDL-コレステロールはいわゆる善玉のコレステロールで、高いほうが長生きできると言われています。

## 検査説明：35

**血糖****血糖 (BS)、ヘモグロビン A1c (HbA1c) とは？**

血糖 (BS) やヘモグロビン A1c (HbA1c) という検査は、一般に糖尿病の患者さんに行う検査です。

腎不全では糖尿病でない患者さんでも、血糖が上昇する場合もあり、また透析液中にも糖分が含まれるため、血糖を調べています。

## 検査説明：36

**肝炎ウイルス****肝炎ウイルスの検査**

肝炎ウイルス (HBs 抗原, HBs 抗体, HCV 抗体) の検査を定期的に行っています。

肝炎ウイルスは肝臓に炎症を起こしますが、軽度の場合、AST, ALT などの肝臓機能検査に異常がでません。このため、直接肝炎ウイルスの検査をしています。

## 検査説明：37

**アミラーゼ****膵臓機能 (アミラーゼ) の検査**

膵臓は食べたものを消化する酵素を作っていますが、透析患者さんではいろいろなストレスによって膵臓に炎症を起こすことがあります。胃部や背部、心窩部に痛みを伴い、この時アミラーゼが上昇します。

腎不全では通常でもアミラーゼは上昇している人が多く、症状が重要です。

検査説明：38

## CPK

### CPK の検査

CPK は筋肉の異常時に上昇する検査値です。激しい運動や心筋梗塞に伴い上昇することもあります。

透析患者さんでは、とくに何もなくても変動があります。しかし、薬剤の副作用によって上昇することもあり、足腰に力が入らない、筋肉が痛いという症状がある時には注意が必要です。

検査説明：39

## 甲状腺

### 甲状腺の検査とは？

FT4, FT3, TSH は甲状腺の検査です。

甲状腺は新陳代謝に影響するホルモンで、低下により手足がむくんだり、異常に寒さがつらくなったり、心胸比が上昇したりします。

長期透析により、甲状腺の働きが低下してくると言われます。

検査説明：40

## 胸部

### 胸部レントゲン検査はなぜ行うのですか？

#### レントゲン検査

水分を取りすぎて体重が増えると、心臓が大きくなります。

さらに増えると、肺の中や外に水がたまります。

この状態を肺水腫といい、呼吸が苦しくなります。

このため定期的に胸部レントゲンで、心臓の大きさ（心胸比）をチェックしています。

検査説明：41

## 心電図

### 心電図検査はなぜ行うのですか？

不整脈（脈の乱れ）や心筋の虚血状態（血液が十分流れず、酸素不足になる）をみています。

虚血は心臓の血管が動脈硬化などで狭くなったりつまったりすると生じ、狭心症や心筋梗塞がこれにあたります。

不整脈はカルシウムやカリウムの異常や動脈硬化で生じることもあります。

検査説明：42

## 心超音波検査

### 心超音波検査（心エコー）はなぜ行うのですか？

#### （心エコー）

心臓を超音波で見ると、心臓の大きさや動き具合、弁の状態、心臓の壁の厚さがわかります。

カルシウムやリンの異常により弁が硬くなったり（弁膜症）、血の塊（血栓）ができ、脳血栓の引き金になることもあり、これらの異常を発見します。

このため、定期的に心超音波検査をすることをすすめています。

検査説明：43

## 腹部超音波検査

### 腹部超音波検査（腹部エコー）はなぜ行うのですか？

#### （腹部エコー）

長期に透析を行っている時、腎臓が萎縮したり、のう胞ができて大きくなったりします。このような変化に伴い、時として腫瘍ができることがあります。また肝炎ウイルス陽性者では、肝腫瘍のできる可能性もあります。

このため、定期的に腹部超音波検査をすることをすすめています。

検査説明：44

---

#### 関節超音波検査 関節超音波検査（関節エコー）はなぜ行うのですか？

（関節エコー） 長期透析により、 $\beta_2$ -マクログロブリンという物質が関節内に沈着してきます。これが炎症をおこし、関節の腫脹や痛みを起こします。

このため関節内の異常をチェックするために、関節超音波検査をすすめています。

検査説明：45

---

#### 全身骨 レントゲン 全身骨レントゲン検査はなぜ行うのですか？

レントゲン 長期透析により、全身の骨が脆くなってきます。このため、骨の状態をレントゲンでチェックします。

また、全身の異所性石灰化も合わせて調べます。

# MINT システム 使用マニュアル

20010580

P.125～168 のページは Medical Information New Technology (MINT) システムの使用マニュアルとなりますので内容については社団法人日本透析医会にお問い合わせください。

## 長期透析に伴う合併症の克服に関する研究班

主任研究者 平澤 由平  
分担研究者 山崎 親雄 大平 整爾  
鈴木 満 長谷川 真二  
秋澤 忠男 山根 伸吾  
鈴木 正司 杉崎 弘章  
吉田 豊彦 武田 亘弘  
横山 健郎 黒田 重臣  
室谷 典義

---

平成 14 年 3 月 30 日 発行

平成 13 年度厚生労働省 厚生科学研究費補助金  
21 世紀型医療開拓推進研究事業  
「長期透析に伴う合併症の克服に関する研究」研究報告書

発行人 主任研究者 平 澤 由 平

事務局 社団法人日本透析医会  
〒101-0041  
東京都千代田区神田須田町 1 丁目 15 番地 2 号  
淡路建物ビル 2 階  
TEL 03 3255-6471

印刷所 株式会社三秀舎  
〒101-0047  
東京都千代田区内神田 1 丁目 12 番地 2 号  
TEL 03 3292-2881

---